

科目名	運動学 2						年度	2026	
英語科目名	Kinematics 2						学期	後期	
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	後藤勝正	教員の実務経験		無	実務経験の職種				

【科目の目的】
 運動障害をもつ患者への施術を行うために人間の運動にかかわる身体の機能と構造についての基本的な知識を備えることを目的とする。

【科目の概要】
 基礎力学や身体の動きや歩行のメカニズムを学びます。

【到達目標】
 柔道整復の特性を考慮して、骨・関節・筋の構造と機能に重点をおきつつ、運動学による姿勢や歩行の評価を学ぶことで医療現場における患者への指導管理の土台を形成することを目標にしている。

【授業の注意点】
 国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック					
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	運動発達について完全に理解している。	運動発達について大体理解している。	運動発達について部分的に理解している。	運動発達についての理解がやや不足している。	運動発達について理解していない。
到達目標 B	運動学習について完全に理解している。	運動学習について大体理解している。	運動学習について部分的に理解している。	運動学習についての理解がやや不足している。	運動学習について理解していない。
到達目標 C	上肢帯から手の運動について完全に理解している。	上肢帯から手の運動について大体理解している。	上肢帯から手の運動について部分的に理解している。	上肢帯から手の運動についての理解がやや不足している。	上肢帯から手の運動について理解していない。
到達目標 D	股関節から足の運動について完全に理解している。	股関節から足の運動について大体理解している。	股関節から足の運動について部分的に理解している。	股関節から足の運動についての理解がやや不足している。	股関節から足の運動について理解していない。
到達目標 E	体幹と脊柱の運動について完全に理解している。	体幹と脊柱の運動について大体理解している。	体幹と脊柱の運動について部分的に理解している。	体幹と脊柱の運動についての理解がやや不足している。	体幹と脊柱の運動について理解していない。

【教科書】
 教科書は「運動学」を持参する。必要に応じて資料を配布する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】
 試験と課題を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		運動学2			年度	2026
英語表記		Kinematics 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	運動発達①	神経組織の成熟と乳幼児期の運動発達について。	1 運動発達とは	年齢の増加に伴う小児の運動行動の変容過程を理解する。	3	
			2 乳幼児期の運動発達	乳幼児期の反射と反応について理解する。		
			3 全身運動の発達	全身運動の発達について理解する。		
2	運動発達②	小児歩行の特徴と上司運動の発達について。	1 小児歩行の特徴とは	小児歩行の特徴を理解する。	3	
			2 小児歩行の発達	上肢の振りを含めた小児歩行の発達について理解する。		
			3 上肢運動の発達	上肢運動の発達について理解する。		
3	運動学習①	運動学習や運動技能と運動能力について。	1 運動学習とは	認知学習と運動学習について理解する。	3	
			2 運動技能とは	運動技能について運動技術との違いを含めて理解する。		
			3 運動能力とは	課題遂行に必要な個人に内在する比較的安定した特性について理解する。		
4	運動学習②	運動技能学習の過程と学習曲線について。	1 運動技能学習の過程	運動技能学習の過程を理解する。	3	
			2 運動技能の学習曲線	運動技能獲得の学習曲線を理解する。		
			3 運動学習に影響する因子	運動学習に影響する因子について理解する。		
5	上肢帯の運動・肩関節の運動	上肢帯に関与する骨・筋・関節の構造や機能について。	1 上肢帯の骨格と関節	鎖骨と肩甲骨、胸鎖関節と肩鎖関節について理解する。	3	
			2 肩関節の骨格と関節	肩甲骨と上腕骨、肩関節について理解する。		
			3 上肢帯と肩関節の筋	上肢帯と肩関節の筋について理解する。		
6	肘関節と前腕の運動	肘関節や前腕に関与する骨・筋・関節の構造や機能について。	1 関節	腕尺関節、腕頭関節、上・下橈尺関節について理解する。	3	
			2 運動	肘関節の屈曲・伸展、前腕の回内・回外について理解する。		
			3 肘関節と前腕の運動と筋	肘関節と前腕の運動にかかわる筋とその働きを理解する。		
7	手関節と手の運動①	手関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能について。	1 骨格と関節	手関節と手の骨格と関節について理解する。	3	
			2 指背腱膜とその障害	指背腱膜とその障害について理解する。		
			3 手関節と指の運動	手関節と指の運動と筋について理解する。		
8	振り返り	後期1回～7回の講義の振り返り。	1 運動発達とは	年齢の増加に伴い小児の運動行動が変容していく過程について理解する。	3	
			2 小児歩行の特徴	踵接地がない、支持基底が広い、上肢の振りが少ない、歩行率が高いことについて理解する。		
			3 上肢帯から前腕の運動	関与する骨・関節・筋について理解する。		
9	股関節の運動	股関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能について。	1 骨格と関節	股関節に係る骨格と関節について理解する。	3	
			2 靭帯とその役割	股関節の靭帯とその役割について理解する。		
			3 股関節の運動	股関節の運動と筋について理解する。		
10	膝関節の運動	膝関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能について。	1 骨格と関節と靭帯	膝関節に係る骨格・関節・靭帯について理解する。	3	
			2 運動	屈曲・伸展、内旋・外旋とその特徴について理解する。		
			3 膝関節の筋	膝関節の運動にかかわる筋について理解する。		
11	足関節の運動	足関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能について。	1 骨格と関節	足関節に係る骨格と関節について理解する。	3	
			2 足関節の運動	足関節の運動と筋について理解する。		
			3 足のアーチと変形	足アーチの形成と構成要素ならびに足の変形について理解する。		
12	体幹と脊柱の運動①	体幹と脊柱に関与する骨・筋・関節の構造や機能について。	1 脊柱の構成	頸椎、胸椎、腰椎、仙骨、尾骨について理解する。	3	
			2 椎間円板の構成	椎体間にあり線維輪と髄核で構成されることについて理解する。		
			3 脊柱の生理的彎曲	頸椎前弯、胸椎後弯、腰椎前弯、仙尾骨後弯について理解する。		
13	体幹と脊柱の運動②	体幹と脊柱に関与する骨・筋・関節の構造や機能について。	1 頸部の運動	環椎一軸椎間の運動と第3頸椎以下の運動について理解する。	3	
			2 胸椎と胸部の運動	胸椎の運動、胸部の運動（呼吸運動）について理解する。		
			3 腰椎、仙骨および骨盤の運動	腰椎、仙骨、骨盤の骨格の構成について理解する。		
14	振り返り	後期9回～13回の講義の振り返り。	1 股関節の運動	骨格、関節、運動について理解する。	3	
			2 膝関節の運動	骨格、関節、運動について理解する。		
			3 足関節の運動	骨格、関節、運動について理解する。		
15	運動学2のまとめ	後期運動学2全体の振り返り。	1 上肢の運動	上肢帯、肩関節、肘関節、前腕、手の各運動について理解する。	3	
			2 下肢の運動	股関節、膝関節、足関節の各運動について理解する。		
			3 脊柱の運動	頸椎、胸椎、胸部、腰椎の各運動について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等